

情熱先生4度目の舞

辻堂小教諭の
佐藤夏子さんの
フラメンコでオレッツ

情熱を込めエネルギーに踊る佐藤夏子さん



藤沢市片瀬二丁目の同市立辻堂小学校教諭、佐藤夏子さん(四七)は九日に東京・新宿西口の朝日生命ホール、十二日藤沢市民会館でフラメンコを踊る。「ダンサー先生」を続けて二十数年。二年四組の教え子を始め多くの応援を得て三年ぶり、四回目のステージ

になる。

佐藤さんとフラメンコとの出会いは、川崎で教員を始めて間もなくのころ。有名なスペイン舞踊家河上鈴子さんのステージに感銘し、門をたたいた。「二つあるから逆に、やれた」と、以来教員とダンサーの二足のわらじを履き続

けてきた。

夫を亡くした翌年の一九八七年、創作フラメンコ「追憶」をメイン・プログラムに初のリサイタルを開いた。その後、スペインの世界的なギタリスト、ディエゴ・アマジャを知り、スタッフを迎えて八九年、九三年とステージを踏んで来

た。

これまでと同様、一流のプレーヤーを抱えてのリサイタルは、赤字になってしまふ。「創作作品ができると、踊ってみせたくなる。しょうがない自分の頭をたたきながら準備している」という。

その創作プログラムは、今回は「龍子(たつこ)」をつくった。秋田県田沢湖の伝説

物語「りゅうになった辰子」を題材にした作品という。ディエゴも迎えてほかに、フラメンコの原点「ソロンゴ」など七曲を踊る。

東京、藤沢公演とも午後六時半開演。入場料はいずれも指定席五千円、自由席四千円、高校生以下二千円。問い合わせは佐藤さん(〇四六六一二七―四五三七)へ。